

# こんにちは 婦人会です

早いもので5月も半ばを過ぎてしまいました。暦の上ではもう夏の始まり。この頃の夏を思わせる陽気に、今年初めて半袖の洋服を着たのですが、なんと体が順応してくれなくて風邪気味です。体調管理が難しい季節です。皆さんも気を付けてくださいね～。先日、所要の帰り道で、近隣の山々の燃え立つような新緑の綺麗さに思わず目を奪われて、「目には青葉 山ほととぎす・・・」反射的にこの句を連想してしまいました。

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

花ボラをしている知人が、団地の街路樹に「百合の木」が植えられていて、今年は花が咲いているよ～と興奮気味に教えてくれたので、彼女に連れられて花を見に行きました。名前に百合がついているのに百合とはまったく違う花、なぜ??早速インターネットで調べてみました。初夏5月頃、おわんのような大きな黄色の花が咲く。和名：百合の樹 1890年大正天皇が皇太子の時に、小石川植物園を訪ね日本最古のユリノ木を見た際に「ユリノ木」と命名されたそうです。別名チューリップツリーと呼ばれていて、木蓮科だそうです。花は緑色で、高い枝の上の茂った葉の間に咲いているので気づきにくかったですが、下半分に朱色味がかかっている、よく見るとチューリップの形であるような・・・はてさて皆さんはどのように見えますでしょうか。



ちなみに、花からは多量の蜜が採れるそうですよ。

百合の樹の  
花です。

桜台婦人会  
平成23年5月22日  
第112号